



北鉄輪ギ丁場
谷川美濃守の墓碑

谷川美濃守と聞いているだけに、嬉しい玉槨であった。
ただ、その中で二三気なる個所があるので触れさせて
もらいます。

まず、谷川美濃守の山城が宇土山となっているが、我々の口伝では、大字野田字フジガ城となっている。このフジカ城については、ある郷土史家からも話を聞いたことがある。なお、平素の屋敷は、大字鉄輪字トノヤシキにあり、また墓所は大字鉄輪字ギ丁場にあったと伝えられている。

次に、「依て谷川姓を改めて、水月観音菩薩に因み水波平らかにして万民安穩を期し、安波を以て姓となす」とあるが、これは安波ではなく、安浪が正当である。その場合に改正のいわれは、不自然になるように思える。大正時代に作文されたのではなからうか。谷川美濃守の追悼碑が今春大字鉄輪字ギ丁場の墓所に建立された。これは、安波本家一四代末亡人の手によってである。永眠は弘治三丁巳二月一六日、また、位牌は本家が代々お守りしている。

大友陣屋

「石垣原合戦の次第覚書」久我四郎三郎ヨリ

「慶長五庚子年九月初旬 大友左兵衛義統 防州山口

ヨリ進発 従大畑乗船 九月九日豊後浜脇浦ニ着船

同日夜五ツ時立石エ御入陣 即本陣立石邑古屋園ニ有

合之宅ヲ陣屋トス

吉弘嘉兵衛ハ 同村坂本ト云ニ陣ヲ居 即有合之農

家ヲ陣屋トス

宗像掃部ハ 同村御同之原ト云ニ陣ヲ居 是モ有合

之農家を陣トス